資料1

【報告】令和7年度子ども読書活動推進の取組

1 学校図書館の機能強化および取組の充実

（1）学校図書館サポーター養成講座 （生涯学習課） ※別添資料（2）

内容：学校司書に必要な知識等について学んだり、関係者同士のつながりをつくったりすることのできる講座を今年度も開設し、学校司書となり得る人材を育成する。

日程：全７回講座（第１回令和７年７月 31 日　～　最終回 令和８年１月 29 日）

対象：以下の条件をすべて満たす方（定員 30 名）

- ・滋賀県在住または県内で活動や通勤・通学している方
- ・原則７回の講座をすべて受講できる方
- ・滋賀県内の小・中学校の学校図書館に関心のある方、運営に関わりたいと考えている方。
- ・これまでに同講座を受講されていない方。

会場：県中部（東近江市立能登川図書館、能登川コミュニティセンター、東近江市立五個荘小学校）

その他：一部講座にて、（５）学校司書研修会と合同開催
実際の学校司書業務や授業を参観する機会を提供（希望者）

《令和７年度実績》
修了者数:25名／定員30名（令和8年2月末現在）

（2）学校図書館連携推進事業 （幼小中教育課・「こども としょかん」サポートセンター） ※別紙資料(3)

内容：学校図書館に携わる者の連携を強め、子どもたちの主体的な読書活動の拠点となる学校図書館の整備充実と、学校図書館を生かした読書活動や授業づくりの活性化を図る。

日程：第１回　５月 13 日・20 日　　第２回 令和 8 年 1 月 27 日・2 月 3 日
※両日程ともオンライン形式にて開催

対象：学校図書館関係者

- ・県立および各市町立小学校・中学校・義務教育学校の学校図書館担当教諭（司書教諭含む）
- ・学校司書　・公立図書館司書　・各市町教育委員会の学校図書館担当者

《令和７年度実績》
第１回連絡協議会
令和７年５月 13 日（火）
午前の部：彦根市・長浜市・米原市・甲良町・多賀町
午後の部：近江八幡市・高島市・東近江市・愛荘町・豊郷町
令和７年５月 20 日（火）
午前の部：大津市・湖南市・日野町・竜王町
午後の部：草津市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・県立中学校

＜参加人数＞
　小・中学校の学校図書館担当　：　計 315 名
　学校司書、市町公立図書館司書：　計 29 名
　市町教育委員会図書館担当　　：　計 19 名　　　合計 363 名

＜内容＞
・県の説明「学校図書館の三機能の活用事例と今後の改善に向けて」
・講義「教育課程の展開に寄与する学校図書館の役割とは」
　講師：滋賀文教短期大学　国文学科　准教授　有山　裕美子　氏
・グループ別協議「各校の学校図書館の活用状況や取組について」

＜参加者の事後アンケートより＞
・「学校の三機能の理解が深まった、今後の改善に向けて参考になった」
　→肯定的な回答　99.1％
・「講義から、学校図書館を取り巻く環境や果たす役割について理解を深めた」
　→肯定的な回答　99.1％
・「他校や他館の活用状況や取組、連携の方法について知り、今後の連携の在り方について検討や改善を図るきっかけになった」
　→肯定的な回答　97.6％

○　第２回連絡協議会

南部：令和８年１月 27 日（火）
大津市・草津市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市・日野町・竜王町・県立中学校

北部：令和８年２月３日（火）
彦根市・長浜市・近江八幡市・高島市・東近江市・米原市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

＜参加人数＞
　小・中学校の学校図書館担当　：　計 305 名
　学校司書、市町公立図書館司書：　計 30 名
　市町教育委員会図書館担当　　：　計 18 名　　　合計 353 名

＜内容＞
・県の説明「『学校図書館の現状に関する調査』留意点について」
・講義「学校図書館の学習センターとしての機能の活性化について学校図書館を学びの中核拠点へ」
　講師：滋賀文教短期大学　国文学科　准教授　有山　裕美子　氏
・グループ別協議「学校図書館の活性化に向けた今年度の取組について」
　「学習センター機能としての環境面の課題･工夫について」

（3）読書活動推進事業（文部科学省委託事業）　（幼小中教育課･「こども としょかん」サポートセンター）

内容：学校図書館等の図書資料や新聞等を活用し、目的に応じて必要な情報を取り出し、関連付けて整理するなどの情報の扱い方を身に付けながら、課題探究型の学習を行うことで、子どもたちの「主体的･対話的で深い学び」の実現を図る。そのため、推進協力校における状況を把握し、課題を解決するための効果的な学校図書館の機能の活用について調査研究に取り組む。

日程：事業委員会　第１回　６月５日、第２回 令和８年２月９日
研究発表大会　近畿大会の開催に伴い県の研究発表大会の開催はなかったが、

各研究指定校にて図書を活用した授業実践を行った。
12 月 12 日（金）学年ビブリオバトル（安土中学校）
1 月 28 日（水）第一学年の物語作りの実践（金田小学校）
対象：推進協力校　近江八幡市立金田小学校・近江八幡市立安土中学校

《令和７年度実績》
事業委員会　第１回　講師:京都教育大学　教授　植山 俊宏 氏
参加者：推進協力校（管理職、学校司書、学校図書館担当）
滋賀県学校図書館協議会会長
滋賀県中学校教育研究会学校図書館部会長
近江八幡市教育委員会担当者
滋賀県教育委員会担当者
（「こども としょかん」サポートセンター、生涯学習課、幼小中教育課）
第２回　講師：滋賀県学校図書館協議会 顧問 小野田 文雄 氏
参加者：推進協力校（管理職、学校司書、学校図書館担当）
滋賀県学校図書館協議会会長
滋賀県小学校教育研究会学校図書館部会長
近江八幡市教育委員会担当者
滋賀県教育委員会担当者
（「こども としょかん」サポートセンター、生涯学習課、幼小中教育課）

※本年度の研究発表大会は、滋賀県での近畿大会開催年にあたり、「第 49 回近畿学校図書館研究大会兼 県学校図書館研究大会」として実施　８月７・８日(桐原小学校)

（4） <u>司書教諭等連絡協議会</u>（「こども としょかん」サポートセンター、幼小中教育課）

内容：学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として位置付け、この機能を活用した授業の在り方の工夫や、すべての教育活動を通じて児童生徒が読書に親しむ環境づくりにおいて、その中核となる司書教諭や司書等の果たす職務、研究体制、授業の工夫改善等について協議する。
日程：第１回 ７月３日、第２回 （選択研修） ６月～２月
対象：今年度初めて発令を受けた司書教諭、希望者

《令和７年度実績》
第１回　参加者数：64 名　事例発表者：日野町立日野小学校、草津市立老上中学校
※令和７年度　子供の読書活動優秀実践表彰校
第２回　８月７日　第 49 回近畿学校図書館研究大会（１日目）参加者数 12 名
８月８日　第 49 回近畿学校図書館研究大会（２日目）参加者数６名
６月２日～１月 16 日　課題解決能力育成研修オンデマンド受講　参加者数 27 名
２月５日　「やってみよう！国語科のスキルアップ研修 」　参加者数６名
※参加者数は、司書教諭等連絡協議会対象者のみの数

（5） 学校司書研修会・交流会 （「こども としょかん」サポートセンター） ※別添資料(4)

内容： 学校図書館の機能強化および取組の充実、学校図書館の環境整備と活用促進に直接かかわる学校司書の力量の向上を目指し、今後、各市町、各校種での研修にも生かせる内容を提供する。また、学校司書同士の交流を図り、各校の環境整備や取組などの情報共有を行う。

日程： 全７回 第１回 6月4日 ～ 最終回 令和８年１月 29 日
（第４回、第６回、第７回は(1)「学校図書館サポーター養成講座」と合同開催）

対象：・県内小中高等学校、義務教育学校の学校図書館で学校司書として勤務しているもの。
・主に学校図書館の仕事を有償でしているもの。

《令和7年度実績》

学校司書研修会・交流会 （日程 内容 場所）			参加者数 （オンデマンド配信も含む）
第１回 （6 月 4 日）	学校図書館における選書	県庁東館	63
第２回 （7 月 14 日）	小・中・高校の学校図書館をつなげて考える ～高校の実践から学ぶ～	県庁東館	54
第３回 （8 月 29 日）	学校司書の研修とは？ ～研修を通して学ぶ、つながる、広がる～	湖東合同庁舎	54
第４回 （10 月 29 日）	学校図書館の教育力を活かす ～学校に図書館の機能があることで～	能登川 コミュニティセンター	59
第５回 （12 月5日）	小・中・高校の学校図書館をつなげて考える ～小・中学校の実践から学ぶ～	米原市役所 市民交流センター	59
第６回 （12 月 16 日）	学校現場の実態から ～児童・生徒理解～	能登川 コミュニティセンター	54
第７回 （1月 29 日）	学校図書館における著作権	能登川 コミュニティセンター	63
合 計			406

（6）学校図書館活用学校訪問 （「こども としょかん」サポートセンター） ※別添資料(5)

内容：県教育委員会として、学校図書館活用学校訪問（計画訪問）を新設。令和7年度から3年間ですべての小・中学校を訪問し、学校図書館長（学校長）らに対し、学校図書館活用に係る指導と助言を行う。

対象：県内公立小学校中学校・県立中学校・義務教育学校
令和7年度 A グループ 計 103 校
〈公立小学校（70 校）公立中学校（33 校）〉
※令和８年度 Bグループ 109 校 令和９年度 Cグループ 105 校 訪問予定

《令和７年度実績》 資料参照

（7）学校図書館に係る研修の充実 （「こども としょかん」サポートセンター）

内容：県総合教育センターの「課題解決能力研修」の中に「こどもとしょかん」サポートセンターが講師を務める「読書活動の推進」（オンデマンド研修）を新設。当該研修は、新任校長研修の必須研修に位置づけ、学校図書館に係るマネジメント能力の向上を図る。

《令和7年度実績》

受講者数：38 名

受講者による本研修評価：4.3/5

2 子どもの読書活動を支えるひとづくり

（1）子ども読書ボランティア研修会 （「こども としょかん」サポートセンター） ※別添資料(6)

内容：読書ボランティア等の子どもの読書を支える立場の人たちが、子どもの読書活動に理解と関心を持ち、交流や連携を図れる場となるもの。

対象：子ども読書や読み聞かせボランティア活動に関心のある方、県内読み聞かせボランティア関係者、公共図書館・市町行政関係者等

《令和７年度実績》

資料参照

3 子ども・子育て世代にとって居場所となる図書館づくり

（1）パパ・ママのキャリア＋育児サポートプロジェクト（県立図書館） ※別添資料(7)

内容：令和６年度に１階談話室の一角に簡易設置した。靴を脱ぎくつろいで絵本を楽しめるコーナーを改装。書架等を増設し、子育て世代が乳幼児とともに、絵本に加えて育児や仕事に関する本も選べるコーナーを新設する。また、託児サービスを試行する。

対象：産休～乳幼児子育て中の保護者と子ども

《令和７年度実績》

託児サービス ※9 月より開始

実績：9 月 17 名、10 月 30 名、11 月 20 名、12 月 29 名、1 月 35 名

4 乳幼児期からの読書習慣の形成

（1）子ども読書啓発チラシの作成・配布 （生涯学習課）

内容： 子ども読書啓発チラシを作成し、乳幼児健診等を通じて保護者に行き渡るように配布する。学習情報提供システム「におねっと」上の冊子の電子データ（乳幼児・保護者向け子ども読書啓発冊子「えほんいっぱい たのしさいっぱい」）にアクセスできる二次元コードを案内する。併せて、子どもの読書活動に関するアンケートを実施し、今後の事業に対するフィードバックを得るとともに、希望者には冊子版を郵送する。

《令和７年度実績》
部数：チラシ版 15,000 枚　　冊子版 1,500 部（令和８年度配布）
配布：県内の乳幼児健診主管課、図書館等を通じてチラシを配布した。

(2)多様な子どもたちの読書機会の確保（「こども としょかん」サポートセンター）　※別添資料(6)
内容：大津少年鑑別所や鑑別所が所管する子ども食堂、県内４か所の子ども家庭相談センターに本の団体貸出(１回約５０冊)や読み聞かせ等の継続的な支援。

《令和７年度実績》
大津少年鑑別所(所管子ども食堂)、子ども家庭相談センター訪問の状況
大津少年鑑別所への訪問：７回
大津少年鑑別所への貸出：３６８冊＋１０５冊（子ども食堂）
大津少年鑑別所所管子ども食堂でのお話し会：３回（予定含む）
大津少年鑑別所への講話：１回（予定）
子ども家庭相談センター４か所への訪問：２４回
子ども家庭相談センター４か所でのお話し会：１６回
子ども家庭相談センター４か所への貸出：１１０４冊

(3)おはなし会の開催(県立図書館)
時期：毎月開催（第３金曜日午前 11 時　図書館 1 階談話室）

5 調査活動・情報提供　※別添資料(9)

(1) 乳幼児の健康診査時等における親子に対する読書啓発の取組に関する調査
（生涯学習課） 指標①

就学前からの読書習慣の形成には、親子に対する啓発が重要であるため、乳幼児の健康診査時等における親子に対する読書啓発の取組を把握することで、「第５次滋賀県子ども読書活動推進計画」の進行管理に活用するとともに、今後の施策の参考とすることを目的とし、調査を実施する。

(2)滋賀県子どもの読書活動に関する調査（生涯学習課） 指標②③

県内の児童・生徒の読書量を把握することで、「第５次滋賀県子ども読書活動推進計画」の進行管理に活用し、今後の施策の参考とするとともに、各市町が策定する子ども読書活動推進計画の基礎資料として提供することを目的とし、調査を実施する。全国平均値は、「全国学力・学習状況調査」質問調査から引用。

(3)学校図書館図書標準を達成している学校数の割合（幼小中教育課） 指標④

文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」（５年毎実施）による。学校図書館における資料の充実度を把握し、教育課程の展開や児童生徒の学習活動を支援するために必要な図書が十分に整備されているかを確認することを目的とし、調査を実施する。これにより、学校図書館が児童生徒の学習・情報センターとしての役割を果たすための基盤を強化することを目指す。

(4) 学校司書の配置状況に関する調査（幼小中教育課・生涯学習課）指標⑤

文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」（５年毎実施）による。学校において、児童生徒の主体的な学習活動や読書活動を推進するためには、学校図書館機能の一層の充実、活性化が重要であるため、学校司書の配置状況を把握することで、今後の施策の参考とすることを目的とし、調査を実施する。県内の配置状況の推移を把握するため、県独自での調査も実施する。

(5) 滋賀県子ども読書活動団体等調査（生涯学習課）

県内で読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動を行っている団体等の実態を把握し、「におねっと」等で広く情報提供することにより、団体等の活動の活性化や、連携促進を図ることを目的とし、調査を実施する。

(6)「子供読書活動推進計画」策定状況調査（生涯学習課）

文部科学省調査による。「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成 13 年法律第 154 号）第９条で、都道府県及び市町村は「子供読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならないとされており、国は「第五次計画」において令和９年度末までに、市 100％、町村 80％以上の地方公共団体において計画が策定されることを目指しているため、「子供読書活動推進計画」の策定状況を把握することで、子どもの読書活動の推進に係る施策の参考とすることを目的とし、定期的な調査が実施されている（本県では全ての市町で策定済）。

(7) ホームページによる情報提供（生涯学習課・「こども　としょかん」サポートセンター）

子ども読書活動の推進に関わるあらゆる活動が効果的に実施されるよう、滋賀県学習情報提供システム「におねっと」内の、子どもの読書活動を支援するサイト「子ども読書活動支援事業」により、様々な情報を提供する。

特に学校図書館にかかる内容について、「『こども　としょかん』ポータルサイト」により情報提供を行う。

6 滋賀県読書のまちづくり推進事業

(1) 滋賀県読書のまちづくり推進協議会（事務局：「こども　としょかん」サポートセンター）

内容：図書館、学校図書館、書店等から構成される協議会を設置し、そこで得られた意見をもとに、地域の活性化に資する読書を通じたまちづくりの文部科学省モデル事業。

具体的には、

１．滋賀まるごと読書フェア～ミシガンクルーズ～
２．滋賀まるごと読書フェア
３．創作紙芝居「しがどうわ」の作成と普及

《令和７年度実績》

日　程	内　容
6/17	文部科学省と県の委託契約締結
8/7、８	近畿SLA大会　展示と郷土資料販売

８/11	すまいるあくしょんフェスタ「滋賀コレかるた」と豆本
８/26	第１回滋賀県読書のまちづくり推進協議会
10/３ 10/25	第２回滋賀県読書のまちづくり推進協議会 障スポ開会式おもてなSHIGAエリア郷土資料販売と豆本
11/15	湖都の葉マルシェ大型「滋賀コレかるた」と豆本
11/22	電子書籍を作ろう
12/６、７	ぼくら滋賀っ子『リボンむすびの宝箱』発刊記念 今関信子記念講演会、リユース絵本会、豆本
12/13	新しい琵琶湖文化館カウントダウンイベント布の的あて豆本
12/25	滋賀まるごと読書フェアミシガンクルーズ 宮島未奈さんのトークイベント、 滋賀コレかるた大会、「しがどうわ」紙芝居 書籍販売、リユース絵本会、絵本の読み聞かせ
１月上旬～	創作紙芝居「しがどうわ」各学校、図書館での上演 書店員、図書館司書、学校司書によるおすすめ本リスト作成
２/17	第３回滋賀県読書のまちづくり推進協議会

7 第５次滋賀県子ども読書活動推進計画の推進

(1)しが子ども読書活動推進協議会（事務局:生涯学習課）

内容：子どもの読書活動を推進することを目的として、次に掲げる事項について意見交換を行う。

・子どもの読書活動を推進するための連携協力に関すること
・子どもの読書活動推進に関する広報啓発に関すること
・その他、目的達成のために必要なこと

日程：全２回（第１回　７月１０日（木）　　第２回　３月５日（木）

構成：協議会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が選任する。

・学識経験者
・民間団体関係者
・学校図書館関係者
・公立図書館関係者
・関係行政担当者